

和歌山大学経済学部 創立 90 周年を祝う

2012 年 10 月 13 日に和歌山大学のキャンパスにおいて「和歌山大学経済学部創立 90 周年記念式典」が開催されました。この式典は、前身の和歌山高等商業学校が創立（大正 11 年）されてから 90 年になったのを祝う趣旨で開催されましたが、卒業生たる諸先輩方、経済学部で教えられた先生方、地域の関係者の皆様方が集うまたとない機会にもなりました。

式典後のパーティーでは、様々な分野の方々が和気藹々と語り合う情景が随所に見られ、大学の歴史を垣間見ることができました。当日会場で紹介された 90 年の歴史を映す写真展では出席者の多くが当時を思い出し懐かしく見入っていました。

時代が移っても、大学には変えてはならないものがあることを実感した良い機会でした。



式辞を述べる遠藤学部長



式辞を述べる萩平柑芦会長



祝辞を述べる仁坂知事（代読）



卒業生による記念座談会



記念講演を行う山本学長

<内容>

記念式典では、亡くなった卒業生や教員に黙祷、次いで、萩平勲柑芦会長と遠藤史 経済学部長の式辞があり、仁坂吉伸和歌山県知事が祝辞を述べられました（代読）。また、これまでの同窓会活動への功績があった方に対して、感謝状贈呈が行われました。

続いて、山本健慈学長による記念講演（演題「和歌山高商建学の精神」）が行われ、次いで高商 20 期、21 期の卒業生による記念座談会が行われました。記念座談会では当時の和歌山高等商業学校の高い教育力を物語るエピソードや、高商に入学した経緯や高商の誇りなど、様々なお話をお聞かせ頂きました。

また、遠藤史 経済学部長は式辞の中で、「この 90 年の歴史の中で、卒業された皆様は広く経済界に雄飛し、日本経済の屋台骨を支える有為の人材として活躍された。社会に広く貢献する人材を多数送り出してきたことは本学の誇り。」と語り、また「初代岡本校長が述べた訓辞には『商人たるに先だちて先ず人となれ』という印象的な一節がある。この 90 年、経済学部が経済学を教育すると共に人を育ててきたということ、その力を持って卒業生の方々は経済界をサバイバルし、本学の輝かしい歴史を作り上げられた。」と述べました。

祝賀会では、大橋建一和歌山市長が祝辞を述べられました。会場では高商創立以来 90 年の歴史を振り返る 90 枚の写真展や、リレースピーチなどが行われ、最後に参加者全員で寮歌「花の霞に」を合唱し、盛会の中終了となりました。



90年の歴史を映す写真展



祝賀会の挨拶をする山本学長



祝辞を述べる大橋市長



寮歌を熱唱する出席者

